

定期報告が必要な特定建築物・防火設備・建築設備・昇降機等及び報告時期一覧

	用途	規模 又は 階 ※いずれかに該当するもの	用途コード	報告時期	
特定建築物	劇場、映画館、演芸場	・地階 ・F \geq 3階 ・A $>$ 200 m^2 ・主階が1階にないもので A $>$ 100 m^2 (※) [※A \leq 200 m^2 の場合、階数が3以上のものに限る。]	11	11月1日から翌年の1月31日まで(毎年報告)	
	観覧場(屋外観覧席のものを除く。)、公会堂、集会場	・地階 ・F \geq 3階 ・A $>$ 200 m^2 (※) 〔※平屋建ての集会場で客席及び集会室の床面積の合計が400 m^2 未満の集会場を除く。〕	12		
	旅館、ホテル	F \geq 3階かつA $>$ 2000 m^2	13		
	百貨店、マーケット、勝馬投票券発売所、場外車券売場、物品販売業を営む店舗	F \geq 3階かつA $>$ 3000 m^2	14		
	地下街	A $>$ 1500 m^2	15		
	児童福祉施設等(注意1に掲げるものを除く。)	・F \geq 3階 ・A $>$ 300 m^2 (※) [※平屋建てで床面積の合計が500 m^2 未満のものを除く。]	21	5月1日から10月31日まで(3年ごとの報告)(令和元年、令和4年...)	
	病院、診療所(患者の収容施設があるものに限る。)、児童福祉施設等(注意1に掲げるものに限る。)	・地階 ・F \geq 3階 ・A \geq 300 m^2 (2階部分) ・A $>$ 300 m^2 (※)			
	旅館、ホテル(毎年報告のものを除く。)	[※平屋建てで床面積の合計が500 m^2 未満のものを除く。]			22
	学校、学校に附属する体育館	・F \geq 3階 ・A $>$ 2000 m^2			23
	博物館、美術館、図書館、ボーリング場、スキー場、スケート場、水泳場、スポーツの練習場、体育館(いずれも学校に附属するものを除く。)	・F \geq 3階 ・A \geq 2000 m^2	24		
	下宿、共同住宅又は寄宿舎の用途とこの表(事務所等を除く。)に掲げられている用途の複合建築物	F \geq 5階かつA $>$ 1000 m^2	28	5月1日から10月31日まで(3年ごとの報告)(令和2年、令和5年...)	
	百貨店、マーケット、勝馬投票券発売所、場外車券売場、物品販売業を営む店舗(毎年報告のものを除く。)	・地階 ・F \geq 3階 ・A \geq 500 m^2 (2階部分) ・A $>$ 500 m^2	31		
	展示場、キャバレー、カフェ、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場、公衆浴場、待合、料理店、飲食		32		
	複合用途建築物(共同住宅等の複合用途及び事務所等のものを除く。)	・F \geq 3階 ・A $>$ 500 m^2	33		
	事務所その他これに類するもの	5階建て以上、延べ面積が2000 m^2 を超える建築物のうち F \geq 3階かつA $>$ 1000 m^2	34		
下宿、共同住宅、寄宿舎(注意1に掲げるものを除く。)	F \geq 5階かつA $>$ 1000 m^2	40	5月1日から10月31日まで(3年ごとの報告)(令和3年、令和6年...)		
高齢者、障害者等の就寝の用に供する共同住宅又は寄宿舎(注意1に掲げるものに限る。)	・地階 ・F \geq 3階 ・A \geq 300 m^2 (2階部分)	41			
防火設備	随時閉鎖又は作動をできるもの(防火ダンパーを除く。)	上記の特定建築物に該当する建築物に設けられるもの 以下に掲げる用途A $>$ 200 m^2 の建築物に設けられるもの 1 病院、診療所(患者の収容施設のあるものに限る。) 2 高齢者、障害者等の就寝の用に供する用途(注意1)	前年の報告日の翌日から起算して、おおむね6か月から1年の間隔を空けて、原則、以下の期間に報告		
			用途コード10番台 毎年4月から10月		
			用途コード20番台 毎年4月から11月		
			用途コード30番台 毎年4月から1月		
建築設備	換気設備(自然換気設備を除く。)	上記の特定建築物に該当する建築物に設けられるもの	毎年報告 前年の報告日の翌日から起算して1年を経過する日まで		
	排煙設備(排煙機又は送風機を有するもの)				
	非常用の照明装置				
	給水設備及び排水設備(給水タンク等を設けるもの)				
昇降機等	エレベーター ・労働安全衛生法施行令第12条第1項第六号に規定するエレベーター(労働安全衛生法の性能検査を受けているものを除く。)	ただし、籠が住戸内のみを昇降するもの(一戸建て、長屋又は共同住宅の住戸内に設けられた昇降機)を除く。	遊戯施設等は6か月ごとに報告		
	エスカレーター				
	小荷物専用昇降機(昇降機の全ての出し入れ口の下端が当該出し入れ口が設けられる室の床面より50cm以上高いもの(テーブルタイプ)を除く。)				
	遊戯施設等(乗用エレベーター、エスカレーターで観光用のものを含む。)				

(注意1) 高齢者、障害者等の就寝の用に供する用途とは、共同住宅及び寄宿舎(サービス付き高齢者向け住宅、認知症高齢者グループホーム、障害者グループホームに限る。)並びに児童福祉施設等(助産施設、乳児院、障害児入所施設、助産所、盲導犬訓練施設、救護施設、更生施設、老人短期入所施設その他これに類するもの、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、母子保健施設、障害者支援施設、福祉ホーム及び障害福祉サービスを行う施設に限る。)をいいます。

(注意2) F \geq 3階、F \geq 5階、地階とは、それぞれ3階以上の階、5階以上の階、地階で、その用途に供する部分の床面積の合計が100 m^2 を超えるものをいいます。ただし、A \leq 200 m^2 の場合、階数が3以上のものに限ります。Aは、その用途に供する部分の床面積の合計をいいます。